

曾於市
Soo CITY
話題の広場
Topics

やごろう苑へベンチ寄贈 岩川高校



12月9日、ケアセンターやごろう苑のふれあいホールでベンチの寄贈式がありました。このベンチは岩川高校建築科の生徒が作成したものです。岩川高校建築科は現在の3年生が最後の卒業生となるため、「地域の役に立つものを」との思いで作製したという事です。式には岩川高校から作製にあたった建築科から6名、生徒会から5名が参加されました。

式の行なわれた午後3時はおやつの時間でもあり、寄贈式はやごろう苑の利用者さんと生徒さん一緒におやつを食べながら和やかに行なわれました。最後はケアセンターやごろう苑施設長から感謝状と利用者さんから感謝の言葉を頂き生徒さんにとっても良い思い出になったのではないのでしょうか。

みどり 水土里サークル活動で池の掃除



11月21日(日)、大隅町の折田・梶ヶ野^{みどり}水土里会(代表八木勉さん)が、水土里サークル活動の一環として、地区の畑かん用ファームポンド(ため池)の掃除を行いました。

このため池はモデル畑かん事業として平成14年度に完成し、現在地区内のハウスやお茶の防霜などに使われておりますが、ため池内に木の枝や土砂などが溜まり、水質への影響が心配されるため、トラッククレーン2台と大型ポンプを使い1日がかりの大掃除となりました。

今後は、施設の老朽化や部品の更新も必要となるため、早期国営畑かんの完成が待たれます。

ボーイスカウト・ガールスカウト 募金活動を実施



12月29日、ボーイスカウト曾於第6団・ガールスカウト鹿児島第6団が歳末助け合い募金活動を行いました。

この募金活動は、昭和44年から毎年行っている奉仕活動で、集めた募金は共同募金会とユニセフに寄付されます。当日はスカウト30人が曾於市内で募金を呼びかけました。

参加したスカウトからは「寒い中だったけれど、たくさんの人に募金をいただき、とても嬉しかった」と満足した声が聞かれました。

ボーイスカウト・ガールスカウトでは、仲間を広く募集しています。活動内容は曾於第6団ブログ (<http://scout-bento.at.webry.info>) をご覧ください。

110番 いち早く、急がず慌てず、冷静に



1月10日「110番」の日に、曾於市警察署では110番通報が正しく行われるようにと広報キャンペーンを行いました。

この日は、そお市レディの赤池良美さんが「一日警察署長」となり、管内をパトロールした後、タイヨー末吉店周辺で来店客や町ゆく人に110番の正しいかけ方や振込め詐欺・空き巣等の被害防止の啓発ちらしを配布しました。

この活動には、赤池さんのほか地域安全モニター、女性パトロール隊の方々も参加し地域みんなで防犯に努めようと啓発活動に励んでいらっしゃいました。

市民の生命と財産を守るために



曾於市の新春恒例の平成23年曾於市消防出初式が、1月9日、末吉栄楽運動公園で挙行されました。

式典では、機敏で統率の取れた通常点検や小隊訓練を各地区代表の分団が披露した後、全分団による分列行進が行われました。

また、表彰状や感謝状の授与が行われ、曾於支部長表彰や市長表彰、市長感謝状などがそれぞれに贈呈されました。

戸島啓文団長は「市民の信頼と期待に応える為、さらなる消防技術の向上と消防精神に磨きをかけ、災害を最小限にいとめるよう、日々の訓練を重ねていきたい。」とあいさつされました。

式典終了後は、色鮮やかな一斉放水が行われ、訪れた観衆から歓声があがっていました。

自慢の野菜がずらり勢揃い



12月15日、末吉町中央公民館で、末吉中部公民館主催の野菜品評会とバザーが開催されました。

この会は、今年初めて開催するもので地域の方々の農業への意欲を高揚させる事と地域の活性化を狙って開催されたものです。

当日は、畑や自家菜園で丹精を込め大切に育てられた自慢の野菜がずらりと並べられ、審査員の方々も優劣の判断がとても難しい様子でした。

主催者にお話を聞くと「初めての試みでしたが32人の出品者と159品の出品数で十分な成果を得ることができました。各館員の皆様と審査員皆様のご支援ご協力に感謝します。来年以降も続けて開催したいと思っています。」とおっしゃっていました。

市民便利帳共同発行調印式



12月24日、市役所未吉支所委員会室で「市民便利帳」の共同発行調印式がありました。

この市民便利帳は、市役所での手続きや相談窓口、公共機関の案内などを掲載している雑誌で、編集発行から配布まで経費のすべてを民間企業が広告収入でまかなうものです。

この調印は、(株)サイネックス(本社大阪市)と締結し、同社は3月までに広告募集を行い、6月ごろには2万部を作成し、市内全家庭に配布する予定です。

同社の村田吉優^{よしまさ}社長は「全国200都市を超える自治体でこの調印をしてきましたが、この経験・ノウハウを生かして住民のニーズにあった情報誌を発行していきたい」とおっしゃいました。市長は「今後はいろいろな事で民間の力をお借りし、未開拓の分野にも対応できる行政運営を行っていきたい」と挨拶しました。

池田秀一さん 厚生労働大臣表彰受賞



12月6日、大隅町岩川にお住まいの池田秀一さんが、厚生労働大臣表彰を受けた報告に市長室を訪問されました。表彰式は、12月1日に東京都霞ヶ関の中央合同庁舎で行なわれたことなど、受賞の喜びやこれまでの活動を池田市長に話されました。

この表彰は、多年にわたって戦傷病者、戦没者遺族、未帰還者留守家族等の援護事業に携わり、援護事業功労者の分野で功績が顕著な者に対しその功績を称え表彰するものです。

池田さんは大阪府のご出身で、戦時中大隅の芙蓉部隊に所属されました。その後、平成4年から岩川に定住され、戦中戦後の労苦の継承に努められた事を評価されての受賞です。

安全運転をお願いします。岩川小学校



12月21日、大隅町岩川小学校近くの県道71号線沿いで岩川小学校2年生が年末年始交通安全キャンペーンを行いました。

このキャンペーンは、年末年始の交通事故防止運動の一環として行われたもので、岩川小学校2年生49名の児童が、年末年始の忙しい時期でも運転マナーを守って安全運転に心がけてくださいとの願いを込めて、啓発ちらし、ティッシュ、ガムなどを配布しました。

「安全運転をお願いします」と声を掛けられた運転手さん達は、皆一様に「ありがとう、気をつけますね」と笑顔で声を返していました。

このキャンペーンに初めて参加した萩原良介君は「緊張してどきどきしたけど、みんなやさしく笑顔で答えてくれました。みんなが安全運転をして事故で亡くなる人がいなくなればいいと思います。」と元気に話してくれました。

宇津木妙子杯ソフトボール



12月18日、末吉栄楽公園グラウンドで元全日本ソフトボール女子代表監督の宇津木妙子杯ソフトボール大会が開催されました。

この大会には、市内の学校5校と曾於地区内の学校1校の総勢80名の児童が参加し、気持ちのいい汗を流していました。

宇津木さんは3年前にトップアスリート事業で曾於市を訪れ、子供達にソフトボールを通して夢を抱く大事さを教えてくれました。それと同時に3つの約束「グラウンドでは大きな声で」「話す人の目を見て聞く」「グラウンドでは一生懸命走り回る」を交わし再会を誓い帰られました。

今回、宇津木さんはお仕事の都合で来ることはできませんでしたが、子供達のプレーの中にその思いが少しずつ根付いていることを感じさせてくれました。

きらめき笑顔で寒さを吹き飛ばせ！！



1月10日、財部中央公民館周辺の周回コースで健康づくり駅伝大会が開催されました。

この大会は、陸上競技の振興や心身ともにたくましい青少年の育成などを目的に毎年開催しているものです。

当日は、澄みきった青空の中、小学生・中高生・女子・一般の部の4部門に35チームが参加。中央公民館の周回コース、全8区間、11.4kmで健脚が競われ、沿道からは懸命に走る選手に盛んに声援が送られていました。

今回は、小学生の部で「財部J'S A」が、中高生の部で「財部高校」が、女子の部で「末吉中学校陸上部女子」が、一般の部で「サコ-B」がそれぞれ優勝しました。みんなのきらめいた笑顔がとても印象的でした。

日本の祭りCM収録



1月8日、末吉支所正面玄関にある牛の像「宝春号」の前で、CM撮影が行われました。

これは、ダイドードリンコがスポンサーとなって全国の祭りを応援する企画「日本の祭り」に、今回、奇習鬼追いが取り上げられたことに伴い撮影されました。

当日は、そお市レディーやスポーツ少年団、鬼神太鼓、ボーイスカウトの皆さんなど34団体、約40本のCMを撮影。この模様は、2月6日に午後4時からMBC南日本放送で奇習鬼追いの放送中にCMとして放送されることになっています。

また、放送以外にもダイドードリンコの日本の祭りのホームページ (<http://www.dydo-matsuri.com/>) でCMや写真をご覧になることができますので、ぜひご覧ください。

◎曾於市からのお知らせ

Information

「地域が元気になる秘訣」を学ぶ シンポジウムを開催します!



共生・協働フェスティバル
実行委員会事務局
☎ 099-221-6605

市民、行政、自治会、企業などが力を合わせて地域の課題を解決する「秘訣」を一緒に学びましょう!

ひとつべかごしま 2011 共生・協働フェスティバル

日時：平成23年3月6日(日) 午前10時00分～

会場：かごしま県民交流センター県民ホール

参加料：無料(定員：600名)

第1部：基調講演

演題：「協働と共創で地域を耕す」

講師：川北秀人氏

NPO法人IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所代表」

第2部：パネルディスカッション

テーマ：「まちづくりを根っこから考え直す」

コーディネーター

橋口勝氏(鹿児島県NPO事業協会代表)

パネリスト

川北秀人氏(講師)

福島大輔氏(NPO法人桜島ミュージアム代表)

岩切幸二氏(鹿屋市川西町町内会会長)

笹山義弘氏(始良市長)

など

地上デジタル放送受信のための 支援について

総務省地デジチューナー支援実施センター

☎ 0570-023724

曾於市役所未吉支所企画課

☎ 0986-76-8802

曾於市役所大隅支所地域振興課

☎ 099-482-5921

曾於市役所財部支所地域振興課

☎ 0986-72-0931



総務省では、地上デジタル放送がまだ視聴できない「市町村民税非課税世帯」に対して、簡易な地上デジタル放送対応チューナー1台を無償で給付する支援を行います。

なお、支援を受けるにはNHKとの放送受信契約が必要ですが、まだ契約がお済みでない場合は、支援申込み以降に速やかに契約してください。申込みには、「世帯全員が記載された住民票の写し」と「世帯全員分の市町村民税非課税証明書」が必要です。

申込書は、インターネット・電話等で総務省 地デジチューナー支援実施センターからお取り寄せください。市役所未吉支所企画課、財部・大隅支所地域振興課、税務課、市民課窓口にも置いてあります。